



平成 29 年 12 月 26 日

各 位

会 社 名 不二精機株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊井 剛
(JASDAQ コード番号 6 4 0 0)
問合せ先 専務取締役 山本幸司
(TEL. 06 - 7166 - 6822)

シンジケートローン契約の締結、為替差益の計上 および業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において下記のとおりシンジケートローン契約の締結を決議しましたのでお知らせいたします。この契約締結に伴う営業外費用の計上ほかにより、平成 29 年 2 月 14 日付で公表いたしました平成 29 年 12 月期の連結通期業績予想（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日）の修正について併せてお知らせいたします。

記

1. シンジケートローン契約の締結

① 契約締結の目的

メイン銀行である株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行のアレンジメントによる今後 10 年間で想定したスキームを導入することによって、来年度以降の必要資金を安定的・柔軟に確保するとともに、資金調達コストの大幅な低減による経常損益の改善および財務体質の強化を図って参ります。

② シンジケートローンの概要

- | | |
|--------------|--|
| (1) 組成金額 | 総額 30 億円
(コミットメントライン 15 億円、タームローン 15 億円) |
| (2) 契約締結日 | 平成 29 年 12 月 26 日 |
| (3) 実行日 | 平成 29 年 12 月 29 日 |
| (4) アレンジャー | 株式会社三菱東京UFJ銀行 |
| (5) コ・アレンジャー | 株式会社りそな銀行 |
| (6) 参加金融機関 | 株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社南都銀行、株式会社商工組合中央金庫、株式会社京都銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社三井住友銀行 |

③ 営業外費用の計上

本契約締結に伴うアレンジメント手数料 99 百万円を平成 29 年 12 月期の営業外費用に計上いたします。

2. 平成 29 年 12 月期連結通期業績予想の修正

(平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想 (A)	5,391	283	165	166	20.73
今回修正予想 (B)	5,205	292	116	80	10.55
増減額 (B-A)	△186	9	△49	△86	△10.18
増減率 (%)	△3.5	3.2	△29.7	△51.8	△49.1
(ご参考)					
前期実績 (C) (平成 28 年 12 月期)	5,108	211	55	39	4.90
増減額 (B-C)	97	81	61	41	5.65
増減率 (%)	1.9	38.4	110.9	105.1	115.3

<修正理由>

売上高については、精密成形品事業セグメントで自動車関連部品の受注が好調に推移したことなどで前回予想を上回る見込みであります。精密金型事業セグメントでの医療機器用精密金型の大口受注の検収の一部が来年度にずれ込むことなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

営業利益については、精密成形品事業セグメントでの売上が前回予想を上回ることによる利益の増加および、精密金型事業セグメントの稼働率の向上による原価率の低減などにより、前回予想を上回る見込みであります。

経常利益については、長期的財務基盤の安定のための一時費用である上記のシンジケートローン契約のアレンジメント手数料 99 百万円を計上することおよび、主として東南アジアの連結子会社での親会社（当社）よりの円建て債務などの評価替えによる為替差益 40 百万円を営業外収益に計上することを想定していることなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

当期純利益については、経常利益が前回予想を下回ることおよび、精密成形品事業セグメントで老朽化した生産設備の除却 20 百万円を実行することなどにより、前回予想を下回る見込みであります。

以 上

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。